## 岐阜アパレル・縫製産業景気動向調査

## 第1部 アパレル産業

### 1. 調査要領

- (1)調 査 時 期 令和5年10月
- (2)調查依頼企業数 53社
- (3)調查対象期間 令和5年7月~令和5年9月
- (4) 回 答 状 況 有効回答数 46社

有効回答率 86.7%

### 《業種別内訳》

業種	依頼数	回答数	回答率
メンズファッション	2 0	1 8	90%
婦人子供服	2 9	2 5	86.2%
ニット雑貨	4	3	75%
合計	5 3	4 6	86.7%

### (5)調 査 事 項

- ア 売上高
- イ 在庫
- ウ操業度
- 工 販売価格・仕入価格
- 才 利益率
- カ 資金繰り・借入難度
- キ 業況判断・四半期後の業況見通し
- ク 経営上の問題点
- (ア) 売上の減少
- (イ) 経費の増加
- (ウ) 製品安
- (エ) 求人難
- (オ) その他
- ケ 海外生産の割合

## 2. アパレル産業景気動向調査結果の概況

岐阜アパレルは、「販売価格」DI、「業況見通し」DI 等の項目で改善を示したが、「売上高」 DI、「操業度」DI 等の項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DI の前回比較で「販売価格」DI で 18.2 ポイント、「業況見通し」DI で 4.5 ポイント 改善した一方、「売上高」DI で 21.1 ポイント、「操業度」DI で 9.7 ポイント悪化したことである。

経営上の問題点としては、1位「経費の増加」、2位「売上の減少」の順となった。

回答企業のコメントとしては「売り上げ・収益の保証がなく、仕入額高騰もあいまって苦しい」(メンズ)「仕入上昇、物価高、経費増加」(婦人子供服)、「猛暑と物価高の為、客足が遠のき、消費が落ち込んだ」(ニット)等の意見が聞かれた。

### 3. アパレル産業景気動向調査結果

### (1)売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、26.1%と前回の 41.7%から 15.6ポイントの減少となった。一方「減少した」とする企業は、32.6%と前回の 27.1%から 5.5ポイントの増加となった。 DI値は、27.1%から 27.1%から 27



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
売上DI	▲ 82.7	<b>▲</b> 79.1	▲ 83.7	▲ 63.8	▲ 22.5	▲ 39.2	▲ 31.3	<b>1</b> 4.6	22.3	13.0	15.2	27.6	14.6	<b>▲</b> 6.5

### (2)在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、6.5%と前回の 8.3%から 1.8ポイントの減少となった。 一方「過剰」とする企業は、<math>34.8%と前回の 35.4%から 0.6ポイントの減少となった。 DI値は、<math>1.2ポイント悪化して riangle 28.3 となった。



### (3)操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、6.8%と前回の 14.9%から 8.1ポイントの減少となった。一方「低下した」とする企業は、25.0%と前回の 23.4%から 1.6ポイントの増加となった。





### (4)販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、41.3%と前回の 33.3%から 8.0ポイントの増加となった。一方「低下した」とする企業は、6.5%と前回の 16.7%から 10.2ポイントの減少となった。

#### DI値は、18.2ポイント改善して34.8となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「上昇した」とする企業は、91.3%と前回の 85.4%から 5.9ポイントの増加となった。

DI値は、5.9ポイント悪化して▲91.3となった。



### (5)利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、10.9%と前回の 8.3%から 2.6ポイントの増加となった。 一方「減少した」とする企業は、52.2%と前回の 50.0%から 2.2ポイントの増加となった。 DI値は、0.4ポイント改善して▲41.3となった。



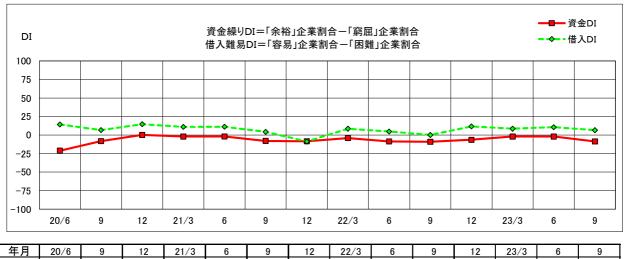
#### (6)財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、15.2%と前回の 16.7%から 1.5ポイントの減少となった。 一方「窮屈」とする企業は、23.9%と前回の 18.8%から 5.1ポイントの増加となった。

#### DI値は、6.6ポイント悪化して▲8.7となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、17.4%と前回の 18.8%から 1.4ポイントの減少となった。 一方「困難」とする企業は、10.9%と前回の 8.3%から 2.6ポイントの増加となった。

DI値は、4.0ポイント悪化して6.5となった。



	年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
	資金DI	▲ 21.2	▲ 8.3	0.0	▲ 2.1	▲ 2.0	▲ 8.0	▲ 8.5	<b>▲</b> 4.2	▲ 8.7	▲ 9.1	<b>▲</b> 6.5	▲ 2.1	▲ 2.1	<b>▲</b> 8.7
Ŀ	借入DI	14.2	6.6	14.6	10.9	11.1	4.2	▲ 8.8	8.4	4.7	0.0	11.6	8.5	10.5	6.5

### (7)業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、10.9%と前回の 8.3%から 2.6ポイントの増加となった。

一方「悪化」とする企業は、37.0%と前回の 35.4%から 1.6ポイントの増加となった。

#### DI値は、1.0ポイント改善して▲26.1となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、11.6%と前回の 6.3%から 5.3ポイントの増加となった。

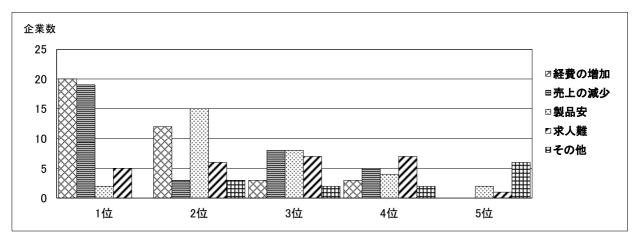
一方「悪化」とする企業は、27.9%と前回の 27.1%から 0.8ポイントの増加となった。

DI値は、4.5ポイント改善して▲16.3となった。



### (8)経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「経費の増加」、2位「売上の減少」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
経費の増加	20	12	3	3	0	38	163
売上の減少	19	3	8	5	0	35	141
製品安	2	15	8	4	2	31	104
求人難	5	6	7	7	1	26	85
その他	0	3	2	2	6	13	28

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

### (9)海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、6.3%と前回の 11.1%から 4.8ポイントの減少となった。 一方「減少した」とする企業は、12.5%と前回の 16.7%から 4.2ポイントの減少となった。 DI値は、0.6ポイント減少して▲6.2となった。



## 4. 業界別調査結果

## <メンズファッション>

### (1)売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、33.3%と前回の 52.6%から 19.3ポイントの減少となった。 一方「減少した」とする企業は、22.2%と前回の 15.8%から 6.4ポイントの増加となった。 DI値は、25.7ポイント悪化して11.1となった。



#### 売上DI ▲ 75.0 ▲ 50.0 ▲ 78.9 ▲ 50.0 ▲ 5.9 ▲ 26.3 ▲ 29.4 ▲ 5.2 18.8 11.8 18.7 27.8 36.8 11.1

### (2)在庫の状況

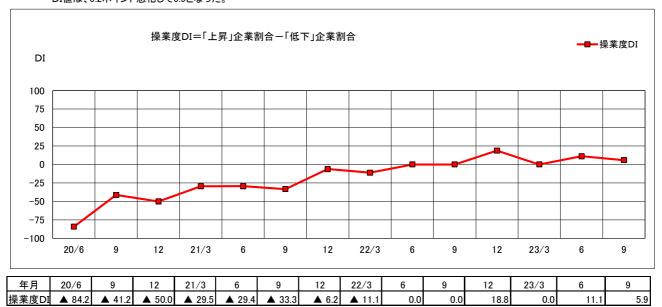
今期、在庫が「不足」とする企業は、5.6%と前回の 0.0%から 5.6ポイントの増加となった。 一方「過剰」とする企業は、27.8%と前回の 42.1%から 14.3ポイントの減少となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
在庫DI	▲ 70.0	▲ 44.4	<b>▲</b> 42.1	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 31.5	<b>▲</b> 41.2	▲ 15.8	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 42.1	▲ 22.2

### (3)操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、11.8%と前回の 27.8%から 16.0ポイントの減少となった。 一方「低下した」とする企業は、5.9%と前回の 16.7%から 10.8ポイントの減少となった。 DI値は、5.2ポイント悪化して5.9となった。



### (4)販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、50.0%と前回の 31.6%から 18.4ポイントの増加となった。

一方「低下した」とする企業は、0.0%と前回の 5.3%から 5.3ポイントの減少となった。

#### DI値は、23.7ポイント改善して50.0となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「上昇した」とする企業は、94.4%と前回の 89.5%から 4.9ポイントの増加となった。

DI値は、4.9ポイント悪化して▲94.4となった。



### (5)利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、22.2%と前回の 10.5%から 11.7ポイントの増加となった。 一方「減少した」とする企業は、38.9%と前回の 47.4%から 8.5ポイントの減少となった。 DI値は、20.2ポイント改善して▲16.7となった。



12

**▲** 5.5 **▲** 17.6 **▲** 42.1 **▲** 52.9 **▲** 73.6 **▲** 81.3 **▲** 41.1

22/3

6

9

12

▲ 31.2

23/3

**44.5** 

9

**▲** 16.7

▲ 36.9

## (6)財務の状況

20/6

利益DI ▲ 35.0 ▲ 22.2 ▲ 22.2

9

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、27.8%と前回の 26.3%から 1.5ポイントの増加となった。 一方「窮屈」とする企業は、11.1%と前回の 15.8%から 4.7ポイントの減少となった。

9

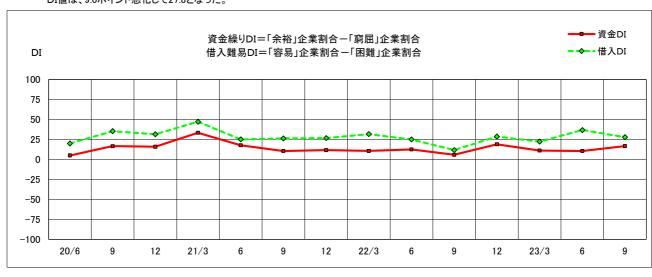
### DI値は、6.2ポイント改善して16.7となった。

21/3

6

今期、借入難易が「容易」とする企業は、27.8%と前回の 36.8%から 9.0ポイントの減少となった。 一方「困難」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

DI値は、9.0ポイント悪化して27.8となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
資金DI	5.0	16.6	15.8	33.3	17.7	10.5	11.7	10.6	12.5	5.8	18.8	11.1	10.5	16.7
借入DI	20.0	35.3	31.5	47.1	25.0	26.3	26.7	31.6	25.0	11.7	28.6	22.2	36.8	27.8

### (7)業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、11.1%と前回の 15.8%から 4.7ポイントの減少となった。

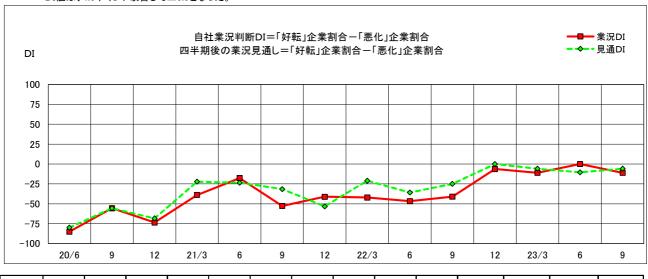
一方「悪化」とする企業は、22.2%と前回の 15.8%から 6.4ポイントの増加となった。

### DI値は、11.1ポイント悪化して▲11.1となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、5.9%と前回の 5.3%から 0.6ポイントの増加となった。

一方「悪化」とする企業は、11.8%と前回の 15.8%から 4.0ポイントの減少となった。

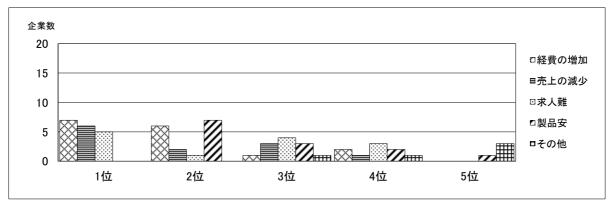
DI値は、4.6ポイント改善して▲5.9となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
業況DI	▲ 85.0	▲ 55.6	▲ 73.6	▲ 38.9	▲ 17.7	▲ 52.7	<b>▲</b> 41.2	<b>▲</b> 42.1	<b>▲</b> 46.7	<b>▲</b> 41.1	<b>▲</b> 6.3	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1
見通DI	▲ 80.0	▲ 55.6	▲ 68.4	▲ 22.2	▲ 23.5	▲ 31.6	▲ 53.3	▲ 21.0	▲ 35.8	▲ 25.0	0.0	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 5.9

### (8)経営上の問題点

経営上の問題点としては1位「経費の増加」、2位「売上の減少」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
経費の増加	7	6	1	2	0	16	66
売上の減少	6	2	3	1	0	12	49
求人難	5	1	4	3	0	13	47
製品安	0	7	3	2	1	13	42
その他	0	0	1	1	3	5	8

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

### (9)海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、0.0%と前回の 9.1%から 9.1ポイントの減少となった。 一方「減少した」とする企業は、11.1%と前回の 18.2%から 7.1ポイントの減少となった。 DI値は、2.0ポイント減少して▲11.1となった。



## 回答企業のコメント

- 高温続きによる店頭販売の不振
- 資金にゆとりがなく、在庫不足による売り逃がしが発生していた。追加生産にかかっているが 売り上げ・収益の保証がなく、仕入額高騰もあいまって苦しい状況。

### <婦人子供服>

### (1)売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、24.0%と前回の 36.0%から 12.0ポイントの減少となった。 一方「減少した」とする企業は、36.0%と前回の 28.0%から 8.0ポイントの増加となった。 DI値は、20.0ポイント悪化して▲12.0となった。



### (2)在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、8.0%と前回の 16.0%から 8.0ポイントの減少となった。 一方「過剰」とする企業は、44.0%と前回の 36.0%から 8.0ポイントの増加となった。



### (3)操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、4.2%と前回の 4.0%から 0.2ポイントの増加となった。 一方「低下した」とする企業は、33.3%と前回の 24.0%から 9.3ポイントの増加となった。 **DI値は、9.1ポイント悪化して▲29.1となった。** 



### (4)販売価格・仕入れ価格の推移

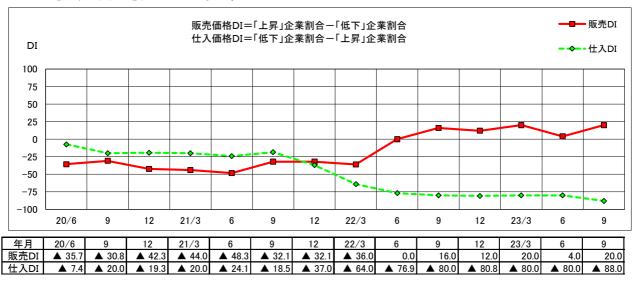
今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、32.0%と前回の 28.0%から 4.0ポイントの増加となった。 一方「低下した」とする企業は、12.0%と前回の 24.0%から 12.0ポイントの減少となった。

DI値は、16.0ポイント改善して20.0となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「上昇した」とする企業は、88.0%と前回の 80.0%から 8.0ポイントの増加となった。

DI値は、8.0ポイント悪化して▲88.0となった。



### (5)利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、4.0%と前回の 8.0%から 4.0ポイントの減少となった。 一方「減少した」とする企業は、60.0%と前回の 52.0%から 8.0ポイントの増加となった。 DI値は、12.0ポイント悪化して▲56.0となった。



### (6)財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、4.0%と前回の 8.0%から 4.0ポイントの減少となった。

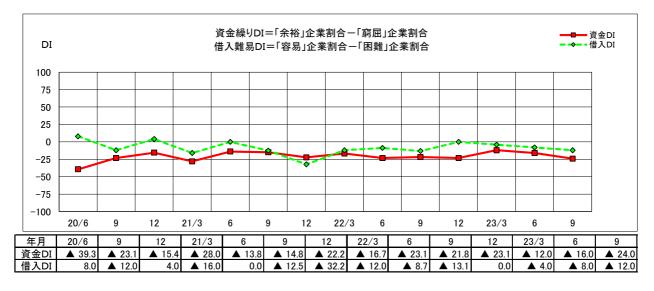
一方「窮屈」とする企業は、28.0%と前回の 24.0%から 4.0ポイントの増加となった。

DI値は、8.0ポイント悪化して▲24.0となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、8.0%と前回と同じになった。

一方「困難」とする企業は、20.0%と前回の 16.0%から 4.0ポイントの増加となった。

DI値は、4.0ポイント悪化して▲12.0となった。



### (7)業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、12.0%と前回の 0.0%から 12.0ポイントの増加となった。 一方「悪化」とする企業は、44.0%と前回の 48.0%から 4.0ポイントの減少となった。

#### DI値は、16.0ポイント改善して▲32.0となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、17.4%と前回の 8.0%から 9.4ポイントの増加となった。 一方「悪化」とする企業は、30.4%と前回の 36.0%から 5.6ポイントの減少となった。

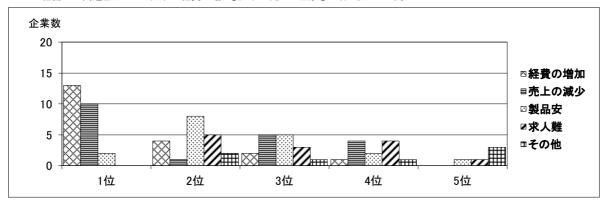
DI値は、15.0ポイント改善して▲13.0となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
業況DI	▲ 92.9	▲ 88.5	▲ 73.1	<b>▲</b> 64.0	▲ 51.8	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 28.0	<b>▲</b> 11.5	▲ 32.0	<b>▲</b> 46.2	<b>▲</b> 16.0	▲ 48.0	▲ 32.0
見通DI	▲ 82.1	▲ 73.1	<b>▲</b> 64.0	▲ 40.0	▲ 46.4	▲ 28.6	▲ 22.2	0.0	<b>▲</b> 16.0	▲ 32.0	<b>▲</b> 46.2	▲ 8.0	▲ 28.0	<b>▲</b> 13.0

### (8)経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「経費の増加」、2位「売上の減少」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
経費の増加	13	4	2	1	0	20	89
売上の減少	10	1	5	4	0	20	77
製品安	2	8	5	2	1	18	62
求人難	0	5	3	4	1	13	38
その他	0	2	1	1	3	7	16

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

### (9)海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、14.3%と前回と同じになった。 一方「減少した」とする企業は、14.3%と前回と同じになった。

DI値は、0.0と前回と同じになった。



## 回答企業のコメント

- 為替の円安傾向に注視している。販売価格に転嫁するため、各売先との商談に力を入れている。
- 服を買うマインドが少ない。
- 今期は、物価高による節約志向と異常気象による影響が大きかったと思う。
- 9月に入っても秋物商品が売れず、夏物商品のセール価格の分しか売れていかなかった。
- 仕入上昇、物価高、経費増加。
- マーケットは戻りつつある所もあるが、市場構造の変化で対応できていない感がある。

### <ニット雑貨>

### (1)売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、0.0%と前回の 25.0%から 25.0%から 25.0%イントの減少となった。一方「減少した」とする企業は、66.7%と前回の 75.0%から 8.3ポイントの減少となった。

DI値は、16.7ポイント悪化して▲66.7となった。



### (2)在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。 一方「過剰」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

DI値は、0.0%と前回と同じとなった。



### (3)操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、0.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの減少となった。 一方「低下した」とする企業は、66.7%と前回の 50.0%から 16.7ポイントの増加となった。 DI値は、41.7ポイント悪化して▲66.7となった。



### (4)販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、66.7%と前回の 75.0%から 8.3ポイントの減少となった。

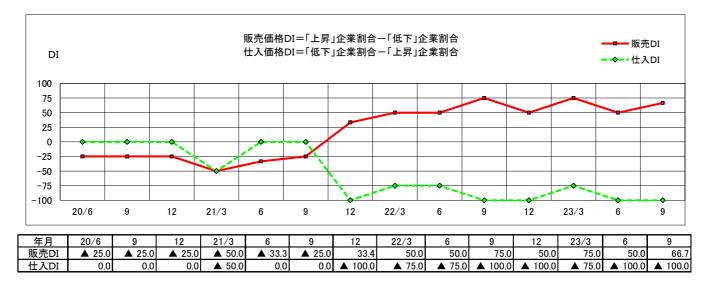
一方「低下した」とする企業は、0.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの減少となった。

DI値は、16.7ポイント改善して66.7となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「上昇した」とする企業は、100%と前回と同じとなった。

DI値は、▲100ポイントと前回と同じとなった。



### (5)利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。 一方「減少した」とする企業は、66.7%と前回の 50.0%から 16.7ポイントの増加となった。 DI値は、16.7ポイント悪化して▲66.7となった。



### (6)財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、33.3%と前回の 25.0%から 8.3ポイントの増加となった。 一方「窮屈」とする企業は、66.7%と前回の 0.0%から 66.7ポイントの増加となった。

DI値は、58.4ポイント悪化して▲33.4となった。 今期、借入難易が「容易」とする企業は、33.3%と前回の 0.0%から 33.3ポイントの増加となった。 一方「困難」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

DI値は、33.3ポイント改善して33.3となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
資金DI	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	▲ 33.4
借入DI	25.0	0.0	0.0	25.0	33.3	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	33.3	25.0	0.0	33.3

## (7)業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、0.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの減少となった。 一方「悪化」とする企業は、66.7%と前回の 50.0%から 16.7ポイントの増加となった。

#### DI値は、41.7ポイント悪化して▲66.7となった。

四半期後の業績見通しが「好転」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「悪化」とする企業は、100.0%と前回の 25.0%から 75.0ポイントの増加となった。

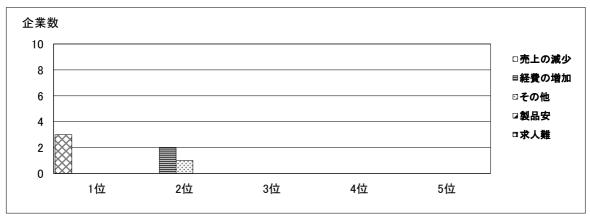
DI値は、75.0ポイント悪化して▲100.0となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
業況DI	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0	25.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 66.7
見通DI	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 100.0

### (8)経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「経費の増加」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
売上の減少	3	0	0	0	0	3	15
経費の増加	0	2	0	0	0	2	8
その他	0	1	0	0	0	1	4
製品安	0	0	0	0	0	0	0
求人難	0	0	0	0	0	0	0

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

# 回答企業のコメント

○ 7月~9月は猛暑と物価高の為、客足が遠のき、消費が落ち込んだ。

## 第2部 縫製産業

### 1. 調査要領

- (1)調 査 時 期 令和5年10月
- (2)調査依頼企業数 14社
- (3)調查対象期間 令和5年7月~令和5年9月
- (4) 回 答 状 况 有効回答数 13社

有効回答率 92.8%

- (5)調 査 事 項
  - ア加工賃
  - イ 受注
  - ウ操業度
  - 工 利益率
  - オ 資金繰り・借入難度
  - カ 設備投資
  - キ 従業員充足率
  - ク 業況判断・四半期後の業況見通し
  - ケ経営上の問題点
  - (ア) 加工賃の減少
  - (イ) 原材料費の増加
  - (ウ) 受注減
  - (エ) 求人難
  - (オ) その他

### 2. 縫製産業景気動向調査結果の概況

縫製産業は、「充足率」DI、「設備投資」DIの項目で改善を示したが、「利益率」DI、「業 況見通し」DI等の項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DI の前回比較で、「充足率」DI で 34.0 ポイント、「設備投資」DI で 16.7 ポイント改善した一方、「利益率」DI で 27.5 ポイント、「業況見通し」DI で 22.5 ポイントと大きく悪化したことである。

経営上の問題点としては、1位「原材料費の増加」、2位「求人難」の順となった。

回答企業のコメントとしては、「電気代・ガソリン代・賃金等の上昇の反面、加工賃はそのままで、先 行きが暗い」等の意見が聞かれた。

## 3. 縫製産業景気動向調査結果

### (1)加工賃の動向

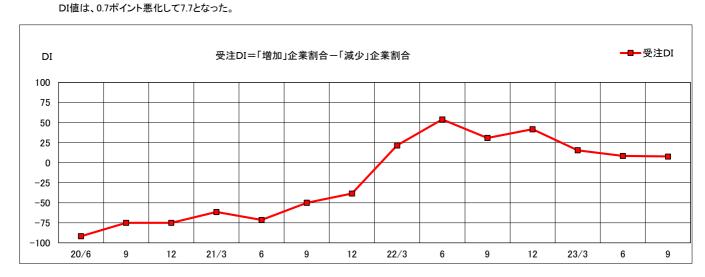
今期、加工賃が「上昇した」とする企業は、30.8%と前回の 41.7%から 10.9ポイントの減少となった。一方「低下した」とする企業は、8.3%と前回と同じとなった。

DI値は、10.3ポイント悪化して23.1となった。



### (2)受注状況の動向

今期、受注が「増加」とする企業は、41.7%と前回と同じとなった。 一方「減少」とする企業は、30.8%と前回の 33.3%から 2.5ポイントの減少となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
受注DI	▲ 91.7	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 50.0	▲ 38.5	21.5	53.8	30.8	41.6	15.4	8.4	7.7

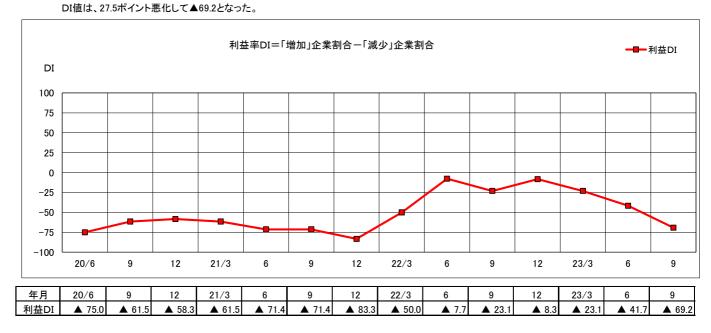
### (3)操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、30.8%と前回の 25.0%から 5.8ポイントの増加となった。 一方「低下した」とする企業は、15.4%と前回の 25.0%から 9.6ポイントの減少となった。 DI値は、15.4ポイント改善して15.4となった。



### (4)利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。 一方「減少した」とする企業は、69.2%と前回の 41.7%から 27.5ポイントの増加となった。



### (5)財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、8.3%と前回の 9.1%から 0.8ポイントの減少となった。 一方「窮屈」とする企業は、33.3%と前回の 18.2%から 15.1ポイントの増加となった。

DI値は、15.9ポイント悪化して▲25.0となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、9.1%と前回と同じとなった。

一方「困難」とする企業は、18.2%と前回の 9.1%から 9.1ポイントの増加となった。

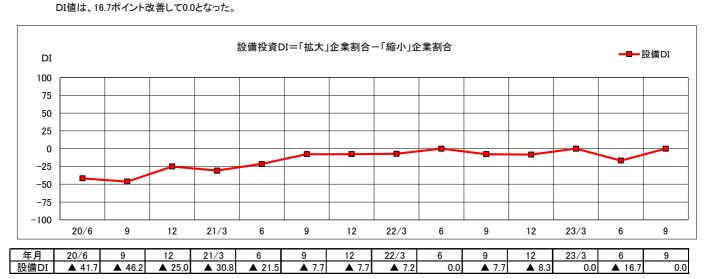
DI値は、9.1ポイント悪化して▲9.1となった。



年月	20/6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
資金DI	▲ 54.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 35.8	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 30.8	0.0	▲ 33.3	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 9.1	▲ 25.0
借入DI	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 15.4	<b>▲</b> 21.5	0.0	▲ 8.3	7.7	8.3	8.4	8.3	7.7	0.0	<b>▲</b> 9.1

### (6)設備投資の状況

今期、設備投資が「拡大」とする企業は、23.1%と前回の 8.3%から 14.8ポイントの増加となった。 一方「縮小」とする企業は、23.1%と前回の 25.0%から 1.9ポイントの減少となった。



### (7)従業員の動向

従業員充足率が「上昇した」とする企業は、7.7%と前回の 0.0%から 7.7ポイントの増加となった。 一方「低下した」とする企業は、15.4%と前回の 41.7%から 26.3ポイントの減少となった。 DI値は、34.0ポイント改善して▲7.7となった。



### (8)業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、7.7%と前回の 16.7%から 9.0ポイントの減少となった。

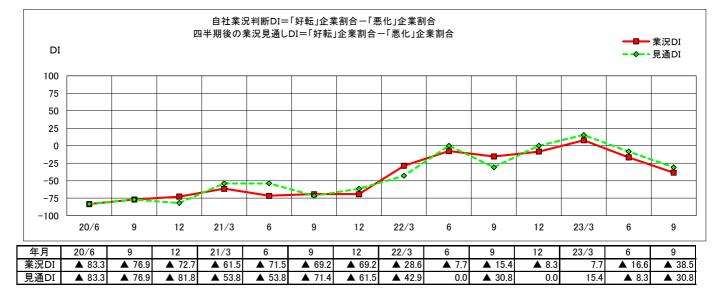
一方「悪化」とする企業は、46.2%と前回の 33.3%から 12.9ポイントの増加となった。

DI値は、21.9ポイント悪化して▲38.5となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、15.4%と前回の 16.7%から 1.3ポイントの減少となった。

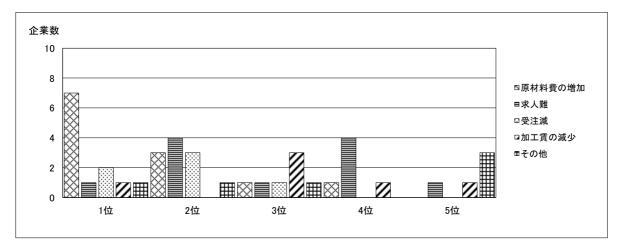
一方「悪化」とする企業は、46.2%と前回の 25.0%から 21.2ポイントの増加となった。

DI値は、22.5ポイント悪化して▲30.8となった。



### (9)経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「原材料費の増加」、2位「求人難」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
原材料費の増加	7	3	1	1	0	12	52
求人難	1	4	1	4	1	11	33
受注減	2	3	1	0	0	6	25
加工賃の減少	1	0	3	1	1	6	17
その他	1	1	1	0	3	6	15

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

## 回答企業のコメント

- 受注は概ね順調であり操業度も上昇した。原材料に遅れがあり、納期の対応に苦慮した。 加工賃は上昇したが、資材、光熱費の高騰、更に人件費の上昇もあり収益は変わらない。
- 電気代・ガソリン代・賃金等の上昇の反面、加工賃はそのままで、先行きが暗い。
- 燃料費、電気代の高騰。物流費の高騰。
- ガソリン代・電気代の上昇に対して、工賃を上乗せしてくれない。 生産ロットが少ない割に、工賃チャージアップしてくれない。
- 人件費、材料・光熱費等が上がっている為、製造原価が上がっている。

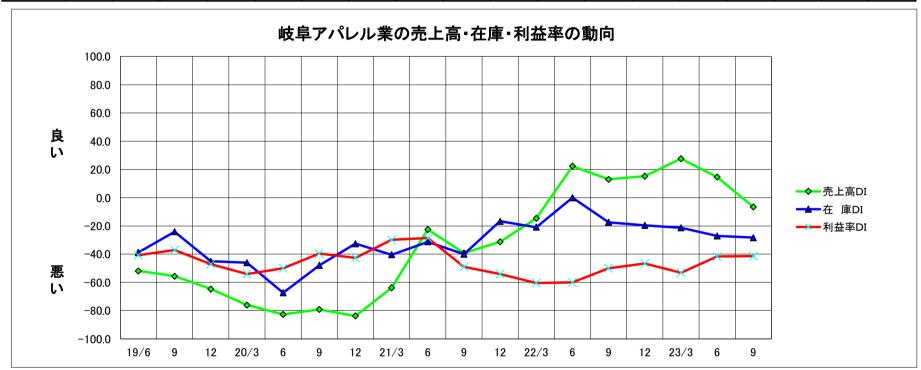
## 岐阜アパレルの動向

○ 売上高DI前期比で- 21.1 ポイル前年同期比で- 19.5 ポイル○ 在 庫DI前期比で- 1.2 ポイル前年同期比で- 10.9 ポイル○ 利益率DI前期比で+ 0.4 ポイル前年同期比で+ 8.7 ポイル

### 岐阜アパレル業の売上高・在庫・利益率の動向

#### ※調査対象企業数53社

年·月	19/6	9	12	20/3	6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
売上高DI	-51.9	-55.6	-64.7	-76.0	-82.7	-79.1	-83.7	-63.8	-22.5	-39.2	-31.3	-14.6	22.3	13.0	15.2	27.6	14.6	-6.5
在 庫DI	-38.8	-24.1	-45.1	-46.0	-67.3	-47.9	-32.6	-40.4	-31.2	-40.0	-16.7	-20.9	0.0	-17.4	-19.6	-21.3	-27.1	-28.3
利益率DI	-40.7	-37.0	-47.0	-54.0	-50.0	-39.6	-42.6	-29.8	-28.6	-49.0	-54.1	-60.4	-60.0	-50.0	-46.6	-53.2	-41.7	-41.3



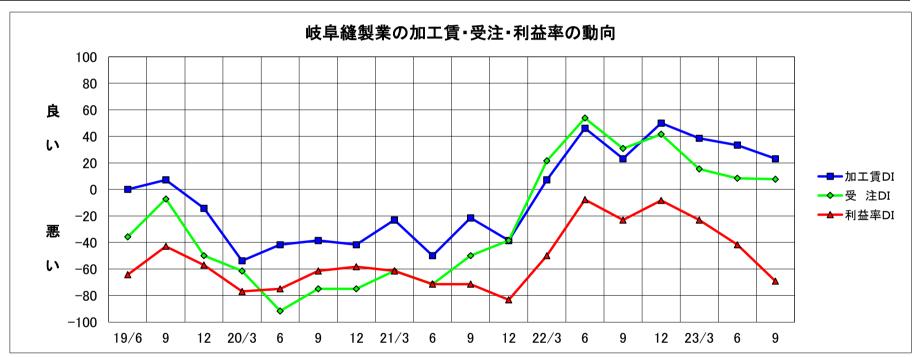
## 岐阜縫製業の動向

O 加工賃DI 前期比で- 10.3 ポイント前年同期比で+ 0.0 ポイントO 受 注DI 前期比で- 0.7 ポイント前年同期比で- 23.1 ポイントO 利益率DI 前期比で- 27.5 ポイント前年同期比で- 46.1 ポイント

### 岐阜縫製業の加工賃・受注・利益率の動向

#### ※調査対象縫製企業数14社

年∙月	19/6	9	12	20/3	6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9
加工賃DI	0.0	7.2	-14.3	-53.8	-41.7	-38.5	-41.7	-23.1	-50.0	-21.5	-38.5	7.2	46.1	23.1	50.0	38.5	33.4	23.1
受 注DI	-35.8	-7.2	-50.0	-61.5	-91.7	-75.0	-75.0	-61.5	-71.4	-50.0	-38.5	21.5	53.8	30.8	41.6	15.4	8.4	7.7
利益率DI	-64.3	-42.9	-57.1	-76.9	-75.0	-61.5	-58.3	-61.5	-71.4	-71.4	-83.3	-50.0	-7.7	-23.1	-8.3	-23.1	-41.7	-69.2



## アパレルDIの推移

	+ + +	:1757 	ᇣᄴᇠ	ᇚᆂᄺᄱ	/	41 <del>14 44</del>	次人但日	/# 1 ## 🖽	自社の業況総	四半期後の自	<b>~</b> ~ ~ ~
年度 月	売上高	在庫	操業度		<u>仕入価格</u>	利益率	資金繰り	借入難易	合判断	社業況見通し	海外生産
2005 6	-22.2 -18.2	-27,8 -32,7	-31.5 -16.4	-44.4 -32.7	0.0 0.0	-42.6 -18.2	-24.I -10.9	11.1 12.7	-27.8 -10.9	−5.6 −1 <u>2.7</u>	-3.7 9 7
9 1 <u>2</u>	1.8	-10.9	-16.4 -5.5	-32.7 -27.3	-7.3	-9.1	-24.1 -10.9 -1.8	10.9	-10.9 -7.3	-7.3	9.7 10.0 -3.4
: 3	0.0	-22.6	-15.1	-2018	-13.2	-11.3	-5. <i>/</i>	18.9	-13.2	-3.8	-3.4
2006 6 9 12 3	-6.0	-44.0 -36.5	-16.0 -19.2	-32.0 -25.0 -30.2	-12.0 -10.2	-20.0 -36.5	-12.0 -15.4	10.0	-22.0 -28.8	−16.0 −23.1	19.2 3.7
12	-28.8 -17.0	-30.2	-19.2 -15.1	-30.2	−19.2 −13.2 −33.3	-30.2	-15.4 -11.3	7.7 7.5	-20 <u>.8</u>	-20.8	7.4
3	-37.0	I −25.9	-29.6	-24.1	-33.3	−30.2 −53.7	-16./	7.4	-40.7	-29.6	l 15.4 l
2007 6 9	-26.0 -33.3	-32,0 -23,5	-30.0	-36.0 -23.5	-34.0	-58.0	-12.0	8.0 -3.9	-56.0	-44.0	14.3 3.8
1 <u>2</u>	-33.3 -38.3	- <u>23.5</u> - <u>36.2</u>	−37.3 −31.9	-170	-39.2 -44.7	−51.0 −59.6	-21.6 -17.0	-3.9 -4.3	-52.9 -57.4	-41.2 -46.8	-10.0
1 3	-26.5	<b>−22.9</b>	-25.5	-24.5	-42.9	-44.9	-12.2	-4.1	-34 /	-39.6	-4.0
2008 6	-35.2 -36.5	-29,6 -34,6	-20.4 -25.0	-22.2 -19.2	-42.6	-38.9	-13.0	-1.9	-42.6	-32.7	-14.8 17.4
9 12	-30.5 -52.0	-34,6 -44.0	-25.0 -38.8	-19.2 -54.0	-48.1 2.0	-44.2 -56.0	−13.5 −20.0	-9.6 -10.0	−42.3 −57.1	-46.2 -55.1	17.4 -4.8
3	-55.4	-42.9	-50.0	-53.6	8.9	-60.7	-32.1	-7.1	-60.7	-67.3	1 421
2009 6	-52.8	-32,1	-35.8	-62.3	15.4	-64.2	-28.3	-5.7	-50,9	-54.7	-24.0 -18.2
9 1 <u>2</u>	-64.0 -50.9	-32,0 -18 9	−55.1 − <u>37.7</u>	-50.0 -58.5	14.0 15.1	-44.0 -47.2	-22.0 -17.0	-6.1 -3.8	-60.0 -56.6	-56.0 -49.1	-18.2 16.7
. 3	-45.5	−18.9 −7.3	-25.9	-58.2	-1.8	-50.9	I -23.6	-7.3	-43.6	-29.1	-3.8
2010 6 9	-30.4	-214	-20.4	-60.7	-8.9	-46.4	-12.5 -18.2	-3.6	-30.4	-30.4	3.4
12	-32.7 -33.3	-27.3 -18.5	-16.4 -17.0	-41.8 -35.2	-9.1 -25.9	-41.8 -35.2	-18.2 -5.6	1.9 7.4	-32.7 -27.8	-34.5 -40.7	-7.1 0.0
12 3	−33.3 −45.1	−18.5 −25.5	-36.0	−35.2 −37.3	−25.9 −47.1	-35.2 -56.9	−5.6 −17.6	7.4 -2.0	−27.8 −62.7	−40.7 −69.4	0.0 4.0
2011 6	-34.6 -31.5	-38.5 -40.7 -32.7 -35.7	-39.2 -25.9 -25.5 -8.9	-42.3 -25.9 -32.7	-26.9 -35.2 -18.2	-42.3 -50.0	-17.7	-1.9 -1.9 1.8	-42.3 -46.3 -38.2 -18.2	-35.3	0.0
9 12	_31.5 _10.5	_40.7 _22.7	_2 <u>5.9</u>	-25.9 -25.9	-35.2 -18.5	-50.0 -11.8	-18.6 -14.6	-1.9	-46.3 -28.3	-40.0 -31.5 -14.5	4.0 14.8 7.1
12	−18.2 −8.9	-32.7 -35.7	- <u>25.5</u> -8.9	-32.7 -30.4	-16.1	−41.8 −28.6	−14.6 −7.2	-18	_30.2 _18.2	-31.5 -14.5	7.1
2012 6	-13.0	-24.1 -36.8	-18.9	-27.8	-11.1 -8.6	-38.9 -36.2	1.8	16.7 5.2	-21.2 -37.9	-19.6	7.4 0.0
9 12	-13.0 -36.8 -32.1	36,8 _19,6	-18.9 -25.9 -14.3	-27.8 -31.0 -28.6	-8.6 -21.4	−36.2 −53.6	1 -8/	5.2 5.4	-37.9 -31.6	-19.6 -29.3 -25.9	0.0
3	_32.1 _33.3	-19.0 -24.1	-14.3 -27.6	- <u>2</u> 0.0 -17.2	-21.4 -50.0	-60.3	-87	1.8	-31.6 -42.9	-23.9 -23.2	4. <u>2</u> 3.6
2013 6 9	-35.1	−27.7 −27.3	-27.7 -11.3	-18.5	-53.7	-51.8 -47.2 -50.0 -62.3	-7.4 -3.6 0.0 -7.5	3.7	-37.0	-27.7	21.7
9	-146	-27.3	-11.3	-//	-60.0	-47.2	-3.6	5.5	-37.0 -25.9 -37.0	<b>-</b> 16./	20.8
1 <u>2</u>	-18.5 -18.8	−16.7 −28.8	−11.3 −20.8	-9.3 -3.8	−47.1 −63.5	-50,0 -62,3	-7.5	3.7 5.5 11.1 3.8	-37.0 -43.1	−26.4 −52.9	21.7 20.8 -7.4 -7.7
2014 6	-34.6 -23.7 -33.9 -41.5	-33.3 -38.2 -37.5 -30.2	-29.1 -25.0	-11.0 -5.4	-47.2 -61.8 -69.6	-52.8 -41.8	-1.8	7.3	-36.4 -42.6	-21.8 -38.0	
9	-23.7	-38.2	-25.0	-5.4	-61.8	-41.8	-14.5 -1 <u>2</u> .5	11.1	-42.6	-38.0	3.7 5.3
1 <u>2</u> 3	-33.9 -41.5	-37.5 -30.2	−30,4 −26.5	−1.8 −3.8	-09.6 -77.4	-48,2 -66,1	- 12.5 -7.5	0,0 5.8	-41.1 -41.5	−39.3 −28.9	0,0 15.0
2015 6 9	-36.4 -31.6	-25.4 -21.1	-27.3 -15.8	-14.5 -7.0	-72.7 -59.6	-49.1	-10.9 -3.5	5.5 1 <u>2.3</u>	-41.8 -38.6	-38.1 -28.1	-10.6 0.0
9	-31.6	-21.1	-15.8	-7.0	-59.6	-49.1	-3.5	12.3	-38.6	-28.1	0.0
12	-49.2 -29.1	−24,5 −25,5	-40.3 -25.4	−14.0 −12.7	-54.4 -30.9	-56,2 -40,0	−8.8 −1.8	5.2 16.4	−47,3 −36,4	-42.1 -30.9	0.0 0.0
2016 6	-28.6	-32.1	-232	-14.3	-21.5	-28.5	-7.2	9.0	-34.0	-28.6	0.0
9	-26.8	-23.2	-30,4	-16.1	-21.5	-23.2	-1.8	12.5	-35.7	-37.5	4.0
1 <u>2</u> 3	−49.0 −31.5	-16.3 -11.1	-30.4 -25.5 -20.4	−20.0 −14.8	−21.5 −23.6 −31.5	−41.8 −35.2	0.0 1.8	9.1 9.3	-49.1 -27.7	-36.4 -27.8	4,0 3,5 13,7
2017 6	-40.0	-25.5	-23.6	-29.0	-32.7	-27.2 -33.3	0.0	10.9	-29.0	-34.5	-8.4
9 12	-33.3 10.7	-26.3	-19.3	−22.8 −33.9	-35.1	-33.3	-3.5	15.8	-28.1	−26.3 −28.6	0.0
3	-19.7 -32.1	-26.8 -21.4	-16.1 -21.4	 	-41.1 -41.1	-28.6 -25.0	0.0 1.8	16.1 17.9	-26.8 -26.8	-26.8 -26.8	4.1 4.4
2018 6	-45.6	-21.1	-33.3	-22.8	-38.6	-36.9	-1.7	12.3	-36.9	-35.1	13.7
9	-43.8 -53.6	-29.8 -40.3	-33.3 -20.9	−24.5 −26.3	-38.6 -47.4	-38.6 -42.8	-10.6	8.8	-50.8 -54.4	-40.3	8.7 -5.2
12 3	−52.6 −42.6	-40.3 -31.4	-29.8 -27.7	- <u>-</u> 20.3 -16.7	-47,4 -50.0	-43.8 -46.3	−3.5 −7.4	21.0 13.0	-54.4 -46.2	-45.6 -38.9	-5.2
2019 6	-51.9	-38.8	-33,3	-24.1	-44.4	-40.7	-7.4	7.7	-55.6	-44.5	0.0
9	-55.6 -64.7	-24.1 -45.1	-31.5 -37.3	-7.4 -17.6	-35.1 -33.4	-37.0 -47.0	14.8	14.8	-40.7 -50.0	-51.8 -59.0	-17.4 -14.3
12 3	-64.7 -76.0	-45,1 -46.0	-37.2 -71.5	−17.6 −18.0	-33.4 -14.0	-47.0 -54.0	-6.0 -30.7	22.0 -4.2	-40.7 -58.8 -83.3	-58.9 -79.6	−14.3 −31.6
2020 6	-82.7	-67.3	-80.4	-28.8 -18.7	-5,9 -19,2	-50.0 -39.6	-21.2	14.2	-90.4	-80.8	-47.6
9 12	−79.1 −83.7	-47,9 -32,6	−70.2 − <u>66.7</u>	-18.7 -20.6	-19.2 -18.3	-39.6 -42.6	-8.3 0.0	6.6 14.6	-77.1 -71.4	-68.8 -66.6	-42.1 -33.3
3	-63.8	-40.4	-54.3	−30.6 −31.9	-23.4	−42.6 −29.8	0.0 -2.1	10.9	−71.4 −55.3	-66.6 -36.1	-40.0
2021 6	-22.5	-31.2	-40.9	-30.6	-22.5	-28.6	-2.0	11.1	-40.9	-41.7	-10.0
9 12	-39.2 -31.3	-40.0 -16.7	-44.0 -27.7	-19.6 -18.8	-20.0 -48.9	-49.0 -54.1	-8.0 -8.5	4.2 -8.8	-51.0 -27 E	-33.4 -27.8	_6.6 _18.7
1 <u>2</u> 3	-14.6	-20.9	-29.8	−18.8 −10.5	−48.9 −70.8	-54.1 -60.4	−8.5 −4.2	-8.8 8.4	-40.9 -51.0 -37.5 -37.5	-41.7 -33.4 -37.8 -12.5	0.0
2022 6	22.3	0.0 -17.4	-8.9 -15.5	13.1	-84.8 -89.1	-60.0	-8.7 -9.1	4.7 0.0	-20.0	-23.2	0.0 5.8
9	13.0	-17.4 -10.6	_ <u>_15.5</u>	30.4 24.4	-89.1 -87.0	-50.0		0.0	-20.0 -32.7 -30.4	_26.6 _21.6	5,8
1 <u>2</u> 3	22.3 13.0 15.2 27.6	-19.6 -21.3	-19.5 -13.1	24.4 25.6	-87.0 -78.7	-46.6 -53.2	-6.5 -2.1	11.6 8.5	-30.4 -10.6	-23.2 -26.6 -31.8 -6.6	-18.8 5.9
2023 6	14.6 -6.5	-27.1	-8.5 -18.2	16.6 34.8	-85,4 -91,3	-41.7 -41.3	-2.1 -8.7	10.5 6.5	-27.1	-20.8 -16.3	-5.6 -6.2
. 9	-6.5	-28.3	-18.2	34.8	-91.3	-41.3	-8.7	6.5	-26.1	-16.3	-6.2
1 <u>2</u> 3											

## 縫製DIの推移

<u>爬</u> 表	<u>, עוט</u>	)推移										
年度	月	加工賃	受 注	操業度	利益率	資金繰り	借入難易	設備投資	従業員充足率	自社の業況総合 判断	四半期後の自社 業況見通し	海外生産
2005	6	-42.9	-28.6	-21.4	-35.7	-42.9	-28.6	-21.4	-14.3	−21.4	-21.4	なし
	9	-21.4	-71	-214	-50.0	-42 9	-286	-143	-143	-28 6	-21.4	なし
	12	-30.8	-7.7	-23 1	-30.8	-38.5	-38.5	-30.8	-15.4	-23 1	-23.1	なし なし
	3	-8.3	41.7	33.3	-16.7	-41.7	-33.3	-8.3	-8.3	-16./	-16.7	
2006	6	-6.7	26.7	20.0	-6.7	-33.3	-40.0	0.0	0.0	13.3	6.7	なし
	9 12	-15.4	30.8	0.0	-23.1	-23.1	-30.8	-23.1	0.0	-7.7	0.0	なし なし
	3	-20.0 -7.1	-20.0 21.4	-20.0	-46.7 -14.3	-53.3	-40.0	-26.7	−6.7 −7.1	-33.3	-20.0	なし
2007	6	-7.1 -6.7	13.3	14.3 6.7	-14.3 -33.3	-28.6 -33.3	-28.6 -20.0	<u>−21.4</u> −6.7	0.0	-14.3 -20.0	-14.3 -20.0	なし
	9	0.0	13.3	-6.7	-26.7	-20.0	<u>20.0</u> −13.3	6.7	-6.7	<u>20.0</u> −13.3	-26.7	なし
	12	-6.7	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3	-13.3	-20.0	-6.7	-13.3	-26.7	なし なし
	3	-6.7	0.0	-13.3	-26.7	-33.3	-20.0	-13.3	0.0	-26.7	-26.7	なし
2008	6	-33.3	-40.0	-33.3	-73.3	-40.0	-20.0	-26.7	-6.7	-53.3	-50.0	なし なし
	9 12	-33.3	-26.7	-26.7	-73.3 -71.4	-40.0	-33.3	-20.0	-20.0	-60.0	-73.3	なし なし
	3	-42.9 -57.1	-64.3 -42.9	-57.1 -42.9	-/1.4 -92.9	-64.3 -57.1	−28.6 −28.6	-46.2 -28.6	−15.4 −14.3	-71.4 -100.0	-64.3 -71.4	なし
2009	6	-73.3	-86.7	-80.0	-86.7	-73.3	-46.7	-46.7	-13.3	-86.7	-80.0	なし
	9	-71.4	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-30.8	-35.7	0.0	-71 4	-57 1	なし なし
	12	-66.7	-80.0	-73.3	-80.0	-80.0	-46.7	-46.7	-28.6	-86.7	-78.6	なし
0010	3	-50.0	0.0	-21.4	-78.6	-78.6	-14.3	-35.7	-15.4	-64.3	-57.1	なし
2010	6 9	-46.2	-69. <u>2</u>	-69.2	-84.6	-69. <u>2</u>	-30.8	-61.5	-16.7	-76.9	-69.2	なし なし
	12	−15.4 −21.4	30.8 0.0	15.4 -28.6	−38.5 −64.3	-61.5 -53.8	−41.7 −38.5	−30.8 −14.3	-23.1 -23.1	−38.5 −61.5	-46.2 -46.2	なし
	3	13.3	26.7	-26.0 26.7	-04.3 -33.3	-53.3	–36.5 –26.7	-14.3 -26.7	– <u>-</u> 23.1 –33.3	-01.5 -40.0	-40.2 -60.0	なし
2011	6	-14.3	-21.4	-14.3	-50.0	-64.3	-35.6	-35.7	-28.6	-42.9	-14.3	なし
	9	-7.1	15.4	0.0	-28.6	-57.1	-35.7	-21.4	-14.3	-14.3	-14.3	なし
	12	-13.3	-33.3	-40.0	-66.7	-40.0	-33.3	-13.3	-6.7	-33.3	0.0	なし
0010	3 6	-20.0	33.3	33.3	-46.7	-53.3	-40.0	-33.3	-20.0	-33.3	-26.7	なし
2012	9	0.0 7.1	−7.1 −35.7	0.0 -28.6	-14.3 -42.9	−28.6 −42.9	−14.3 −35.7	−28.6 −21.4	-14.3 -7.1	−7.1 −42.9	−15.4 −57.1	なし なし
	12	-26.7	-73.3	-71.4	-80.0	-60.0	-13.3	-33.3	-13.3	-66.7	-20.0	なし
	3	0.0	-20.0	-13.3	-46.7	-33.3	-40.0	-13.3	-26.7	-40.0	-40.0	なし なし
2013	6	14.3	-14.3	-14.3	-35.7	-42.9	-35.7	-14.3	-28.6	-35.7	-23.1	なし
	9	-8.4	8.4	8.3	-63.6	-16.7	0.0	-8.4	-18.2	-27.3	-27.3	なし
	12 3	0.0	-15.4	-30.8	-53.8	-41.7	-38.5	-30.8	-30.8	-38.5	-15.4	なし なし
2014	6	0.0 -14.3	38.4 -7.2	0.0 -21.5	-23.1 -50.0	-30.8 -21.4	-23.1 -35.8	-25.0 -14.3	-38.5 -42.9	-30.8 -14.3	-16.7 -21.4	なし
2014	9	-21.4	-14.3	<u>∠1.5</u> −14.3	-50.0	-42.9	-46.1	-14.3	-50.0	-30.8	-38.5	なし
	12	0.0	18.2	0.0	-45.5	-27.3	-45.5	-27.3	-36.4	-18.2	-36.4	なし なし
	3	20.0	40.0	33.3	-40.0	-26.6	-26.6	-13.4	-46.7	-26.6	-26.6	なし
2015	6 9	15.4	23.1	0.0 0.0	-38.5	-38.5	-15.4	-23.1	-46.2	-15.4	-15.4	なし なし
	9 12	13.3	20.0	0.0	-40.0 -20.0	-20.0	-13.3	-33.3	-40.0 -40.0	-13.4	−6.7 −13.4	なし
	3	20.0 7.1	20.0 21.5	-6.7 -7.2	-20.0 -28.6	−33.3 −21.5	−6.7 −21.4	−26.6 −14.3	-40.0 -28.6	−33.3 −21.4	-13.4 0.0	なし
2016	6	6.7	-40.0	-20.0	-33.3	-26.7	-6.7	-26.7	-20.0	-13.4	-33.3	なし
	9	-7.2	-21.4	-7.1	-42.8	-35.7	-28.6	-28.6	-14.3	-35.7	-35.7	なし
	12	-21.4	-21.4	-14.3	-50.0	-35.7	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-57.1	なし
2017	3	-7.2	-21.5	-28.6	-28.6	-28.6	-14.3	<u>-21.4</u>	-21.4	-14.3	-7.1	なし
2017	6 9	0.0	−28.6 −14.3	−57.1 −14.3	−71.4 −57.2	-42.9 -42.9	-14.3 -28.6	−35.7 −35.7	−28.6 −28.6	−64.3 −35.8	−57.1 −42.9	なし
	12	0.0	-28.6	-28.6	-57.2	-42.9	-21.4	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	なし
	3	0.0	7.2	_7.2	-57.1	-50.0	-14.3	-28.6	-42.9	-50.0	-42.9	なし
2018	6	-6.6	-33.3	-33.3	-40.0	-46.7	-13.3	-33.3	-33.3	-40.0	-20.0	なし
	9	-6.6	-26.6	-26.6	-46.6	-53.3	-40.0 -20.0	-40.0	-40.0	-53.3	-40.0	なし なし
ļ	12 3	-13.3 0.0	−46.7 −23.1	−40.0 −15.4	−60.0 −30.8	−60.0 −46.2	-20.0 -30.8	-46.7 -30.8	−33.3 −23.1	−60.0 −38.5	−40.0 −30.8	なし
2019	6	0.0	-23.1 -35.8	-13.4 -21.4	-64.3	-40.2 -42.9	-30.8 -21.5	-30.8 -21.5	-23.1 -35.8	-35.7	-35.7	なし
	9	7.2	-7.2	-7.2	-42.9	-28.6	-14.3	-21.4	-35.7	-14.3	-35.8	なしなし
	12	-14.3	-50.0	-42.9	-57.1	-50.0	-21.5	-50.0	-21.4	-50.0	-57.1	<b>なし</b>
0000	3	-53.8	-61.5	-46.2	-76.9	-58.3	-23.1	-23.1	-23.1	-76.9	040	<b>-</b> 1
2020	6 9	-41.7 -38.5	-91.7 -75.0	-83.3 -30.8	−75.0 −61.5	-54.5 -27.3	−20.0 −25.0	−41.7 −46.2	−33.3 −38.5	−83.3 −76.9	−83.3 −76.9	なしたしない
	12	-41.7	−75.0 −75.0	-63.6	-58.3	−27.3 −18.2		-25.0	-33.3	70.3 -72.7	-81.8	なし
	3	-23.1	-61.5	-23.1	-61.5	-8.3	-15.4	-30.8	-38.5	-61.5	-53.8	なし
2021	6	-50.0	-71.4	-64.3	-71.4	-35.8	-21.5	-21.5	-28.6	-71.5	_ეა.ი	なし
ļ	9	-21.5	-50.0	-50.0	-71.4	-50.0	0.0	-7.7	-28.6	-69.2	-71.4	なし なし
	12 3	−38.5 7.2	-38.5 21.5	−53.8 −21.4	-83.3 -50.0	−33.4 −30.8	−8.3 7.7	-7.7 -7.2	-53.8 -78.6	−69.2 −28.6	-61.5 -42.9	
2022	ა 6	46.1	53.8	0.0	-50.0 -7.7	-30.8 0.0	7.7 8.3	0.0	-76.6 -30.8	-26.0 -7.7	-42.9 0.0	なし.
	9	23.1	30.8	-23.1	-23.1	-33.3	8.4	-7.7	-53.8	-15.4	-30.8	なしない
	12	50.0	41.6	-16.6	-8.3	-9.1	8.3	-8.3	-25.0	-8.3	0.0	なし
6000	3	38.5	15.4	-7.7	-23.1	-15.4	7.7	0.0	-30.8	7.7	15.4	なし
2023	6 0	33.4 23.1	8.4 7.7	0.0 15.4	−41.7 −69.2	−9.1 −25.0	0.0 -0.1	-16.7 0.0	-41.7 -7.7	−16.6 −38.5	−გ.კ	なし なし
	9 12	23.1		10.4	_∪9.∠	-25.0	-9.1	0.0	-7.7	_აი.ა	-30.8	<u>'&amp;</u>
	3											